

# 2019年度 学校経営計画

## 1 はじめに

教育基本法及び学校教育法による我が国の教育の基本方針に基づき、本地区及び本校児童の実態を勘案し、以下のとおり米沢市立塩井小学校の学校経営計画を作成した。

なお、作成にあたって、本校児童の将来に責任を持つ覚悟を第一義とし、時代の変化に敏感に対応すること、さらに本校職員がやりがいや働きがいを感じることができるよう、意を注いだ。

## 2 学校経営の基本要素

- (1) 「いのち」を第一にした人間尊重の意識
- (2) 主体的に生き抜くために必要な力 「共感力・自鍛力・学力」
- (3) 豊かに生きるための「感性」
- (4) 地域と共にある学校（信頼を築き、共に子どもを育てる）

## 3 学校教育目標（めざす子どもの姿）

- (1) **人によりそうやさしさを持つ子ども**  
自他の命、生き方、考え方を大切にする（共感力）
- (2) **ひるまない、へこたれない強い子ども**  
仲間とのつながりを感じ、つらさや厳しさを乗り越え心と体を鍛える（自鍛力）
- (3) **進んで学びに関わり、精一杯考える子ども**  
一生懸命に取り組み、仲間と共に学びを広げ、深め、課題を解決する（学力）
- (4) **感動する子ども**  
自然・人・ものとかかわり、体験を通し、人間ならではの、人間らしさを伸ばす（感性）

## 4 めざす学校像

**子どもにとってやりがいに満ちた 子ども主体の学校**

## 5 経営の方針

**職員にとって子どもの育ちと自身の資質・能力向上にやりがいを感じる職場**

- 命を最優先にした安全・安心の基盤づくり
- 人によりそい、人をみとめ、人をはげます
- 生き抜く力と学力を適切に捉えた指導
- 職員よさを伸ばす研修の充実と時間の確保
- 他者理解と協働（職員と児童、職員と保護者・地域、児童同士、職員同士等）
- 地域との協働・共創
- 子どもに関わる専門的他機関との連携
- 選択と集中 スクラップ&ビルドの実践
- 実態把握に基づいた課題改善

## 6 経営の重点と具体策

### (1) 共感力、規範意識を高める日常活動、指導の充実

- ・縦割り班活動の充実 (内容・時間を精選し、質を高める)
- ・体育的活動を中核に据える ( // )

### (2) 児童が中心となる授業の創造 (探究型の研究も含め)

- 低学年 ・創造性を高めるための基礎・基本を習得させる授業作り  
・学びの楽しさを実感させる授業づくり
- 中学年 ・知識を増やし、知識を使って課題を解決する授業づくり  
・学びの楽しさから、自分で新たな課題を発見する仕組みづくり
- 高学年 ・知識を蓄え、課題に応じて知識をつなげて解決する授業作り  
(学びを学校生活に活かす体験的な活動の充実)  
・学びの楽しさから、自分で新たな課題を発見し解決する仕組みづくり  
・提案、協議、解決を自分たちの力で行う授業作り

### (3) 一人一人に対応した学力の保障

- ・学力に関する個別対応の徹底 学級の日・学習の日の年間の位置づけ  
チャレンジ計算の着実な実践  
個々の学びの分析 (調査を活用) と対応

### (4) 特別支援教育の充実 特別支援教育・教育相談活動

- ・寄り添うことで児童理解を深め、一人ひとりのニーズや困り感を把握する
- ・組織的な対応を実現するチーム構築 (校内・校外 他専門的機関との連携も含め)

### (5) 基本的な生活の仕方の見直し

- ・明るく元気な挨拶の習慣化
- ・廊下や階段を安全に歩く意識化
- ・清掃指導の強化
- ・家庭における時間の使い方をPTAと連携して改善

## 7 目標や方針の実現のために取り組むべきこと

- ・計画の検討には時間をかけ、集中と選択を提案する。カリキュラムマネジメント
- ・時間の確保のための大きな教育課程の変更を一年かけて検討する。
- ・主体的な姿を授業で作るための校内研究に関し、一年かけて次年度の研究内容と教科を検討する。